

うたがき

学校教育目標

「思いやりと主体性をもって
行動する生徒の育成」

第 卒業式 号 平成23年3月11日
文 責 校長 糸山和男 TEL 84-2411

〈校 訓〉 ・正しく
・明るく
・強く

卒業おめでとう！ 卒業生の今後の活躍を期待します！！

(※式辞の概要を掲載し、3年生への最後の学校だよりとします。)

卒業おめでとう



一二九名の皆さん、卒業おめでとうございます。

皆さんは、本日をもって中学校の三年間の全課程を修了しました。この間、家族の方々の温かい励ましや地域の方々の受容的なご支援、そして先生方の熱心な指導など、多くの方々に支えられ、成長してきました。

特に、皆さんにとって、本校での生活は、将来のための基盤づくりの時間になったのではないのでしょうか。

生徒会活動や部活動、そして、体育大会、文化発表会、校内駅伝マラソン大会などの行事においては、最上級生としての自覚を持ち、下級生をリードし、本校のよき伝統を引き継ぎ、前進させながら、多くの成果を重ねてくれました。

また、修学旅行やスケッチ大会、環境福祉体験学習などでは、多くの人との出会いや文化・自然との触れ合いなど、素晴らしい体験を積みながら、人間性の確立を図ってきました。

さて、このように白石中学校へ新風を吹き込んだ卒業生の皆さんへ、新たな航海へのはなむけに、次の三つのことを贈りたいと思います。

まず、その一つは、「生きがいを持つ人間になろう」ということです。

科学や経済の目覚ましい発展により、社会は急激に変化しています。また、情報化社会でもあり、何がどう正しいのか分かりづらい時代でもあります。人生八十年のその社会で、自分らしく生きていくためには、生きがいを持って生活する必要があります。将来の夢や希望を持って、目標を立て、その実現に向かって努力することは、素晴らしいことだと思います。どうか、生きがいを持って、充実した人生を送ってください。

二つ目は、「社会に貢献できる人間になろう」ということです。

卒業生の皆さん一人一人は、様々な能力を持っています。知識や技術のほかに、創造力やまとめる力、考える力、体力など様々です。それらの能力を持っているだけでは、人間としての価値を十分に発揮していることにはなりません。それらを活用し、社会に貢献できてこそ、自分の持っている素晴らしさが生きてきます。そのためには、まず、人として恥じない知的教養を身につけた大人に成長し、自分に厳しく、他人に優しく生きることです。そして、自分らしい生き方をするために、自分で考えて判断し、その判断に基づいて責任ある行動をしていく主体性を持ってください。

三つ目は、「困難に耐えることのできる人間になろう」ということです。

卒業生の皆さんの中には、勉強や部活動、友達との関係などで、学校生活がいやになったり、くじけそうになったこともあったと思います。皆さんは、それらを乗り越えて、今日の卒業となったわけです。これからも困難な場面に出会うこともあると思います。どうか、そのような時には、持ち前のねばり強さで困難を乗り越え、悔いのないすばしい人生を歩んでいってください。

この生きがいを持つ・社会に貢献する・困難に耐える生き方が、皆さんの人生をより確実な方向へと導き、前進させ、向上させる原動力になると信じています。

最後になりましたが、保護者の皆さま、お子さまのご卒業おめでとうございます。立派に九年間の義務教育を終えたお子様の未来に向かっての新しい門出を心からお祝い申し上げます。

この三年間、PTA活動や学年・学級活動、また部活動などを通してお寄せくださいました本校の教育活動へのご協力とご支援に、深く感謝いたします。ありがとうございました。

おわりに、卒業生の限りない前途と志を胸に、我が道を堂々と歩んで行かれることをお祝い申し上げます。



◎ これからの羅針盤になればと・・・

町内在住の匿名アンパンマン様から、卒業する皆さんと、在校生及び教職員へ柴田トヨ氏著の詩集「くじけないで」468冊を寄附していただきました。白石中学校の生徒の心のオアシスになるよう、そしてこれからの人生の糧になるようにとのご厚意から、贈呈されました。アンパンマン様の意を汲み、自分にとって大切な何かを感じ取ってくれることを願っています。アンパンマン様にはこの場を借りて、厚くお礼申し上げます。